



2018年(平成30年)

2月14日

水曜日

バレンタインデー

経済6.7面/国際9.10面
お知らせ10面
金融情報14.15面
エコ・「白球の世紀」17面
スポーツ18.20.21.22面
地域24.25面/生活27.28面
囲碁将棋28面
文化文芸・小説33面
TVラジオ16.38面

朝日新聞大阪本社

〒530-8211 大阪市北区中之島2-3-18
電話:06-6231-0131 www.asahi.com

電気代の一部を 教育問題解決に

岡山電力が新プラン

岡山市の新電力会社「岡山電力」は、教育問題の解決に取り組む団体を支援できる新電力プランを始め、電気代の一部が団体の事業費にあてられる「寄付



会見で新プランを発表したSSGGの野村泰介代表(左)と岡山電力の小沢佳史取締役(岡山北區奉還町3丁目)

型」のプランで、地域や教育分野に貢献したい利用者の電力切り替えを狙う。

支援するのは、元高校教諭野村泰介さん(40)が代表の「SSGG」。野村さんは2016年に教諭を退き、同年から私設の野村教育研究所で主権者教育や進路指導などに取り組んでいる。現在は、中国学園大子ども学部で講師も務める。SSGGは研究所の教育事業部門を独立させて立ち上げた一般社団法人。4月

から、小中学生の学習支援▽高卒資格取得サポート▽シングルファミリー支援など五つの事業を本格的に始める予定だ。

新しい電力プランは「おみやげ未来教育でんき」。基本料金は無料で、電気料金の最大4%が、SSGGが行う教育事業の資金になる仕組みだ。野村さんは「子育て世代や大学、学習塾など岡山の教育に関心のある方にプランを使ってほしい」と語る。

岡山電力は16年10月設立。同年4月からの電力小売り全面自由化に対応し、すでに女子サッカーの岡山湯郷ベルとFC吉備国際大学シャルムを電気料金の一部で支援できるプランを設けている。小沢佳史取締役(36)は「お金をなく『思い』に重きを置く利用者が選んでくれれば」と話す。

新プランに関する問い合わせは、岡山電力(086・221・1227)。(山口啓太)